



親子で天体観測

# 夜空を見上げてみよう

時期:3月

## わたしの星を見つけ隊 中級編

肉眼で星を見ることに慣れてきたら、本格的な天体望遠鏡へと進む前に、まずは双眼鏡をお薦め

します！双眼鏡が1台あると、バードウォッチングやスポーツ観戦などにも使えてとても便利です。双眼鏡を使うと次のようなものが見えます。



14年10月8日の皆既月食の様子(科学館ボランティアスタッフ撮影)

- ①月の表面の模様や大きなクレーター
- ②木星の衛星(ガリレオ衛星)
- ③肉眼では見えない暗い星
- ④大型の星雲星団(すばる、オリオン大星雲など)
- ⑤その他の天文現象(月と惑星の接近、月食、彗星など)

双眼鏡といっても、小さいものから大きなものまであります。それらの中でも、初めての1台としては、レンズの大きさが30mm程度で、倍率6~7倍程度のもがお薦め。使い方のコツは、両手でしっかりと持ち、ペランダの手すりなどに肘を乗せて安定させること。そして、ピントをしっかりと合わせることです。肉眼では見えない暗い星が意外にたくさん見えてきますよ！「わたしの星を見つけ隊」隊員として、双眼鏡を使ってあなただけの星を探してください！

★日立シビックセンター 科学館  
川崎 寿則

### 天文現象

- 3月6日(金) 満月、啓蟄(けいちつ)
  - 3月14日(土) 下弦の月
  - 3月20日(金) 新月
  - 3月21日(土) 春分の日
  - 3月22日(日)~23日(月) 夕方の西空で細い月、金星、火星が並んで見える
  - 3月27日(金) 上弦の月
  - 4月4日(土) 皆既月食
- (欠け始め19:15、皆既の始まり20:54、皆既の終わり21:06、月食の終わり22:45)

### ワンポイントアドバイス

アダプターを使って三脚に固定すると、手振れがなくなり更に見やすくなります。

### 日立シビックセンター天球劇場の案内 ※3月13日(金)までの上映

★「いつでも夢を」火曜日11:00 ★「星に願いを、月に祈りを」11:00(※土日祝日)、13:00 ★「富士の星暦〜日本最高峰を知る〜」13:00 ★「星と宇宙を楽しむプラネタリウム」14:30 ★ドーム映像新番組「Dream to fly」3月14日(土)から上映開始！ [問い合わせ] ☎0294(24)7731 <http://www.civic.jp>



日立シビックセンター科学館よりプラネタリウム入場券をペア2組にプレゼント。10日必着で茨城朝日宛てハガキで応募を。